

平成 26 年度愛媛大学院大学連合農学研究科 入学式 学長告辞

高知大学の脇口でございます。連合農学研究科を代表して、皆さんにお祝い申し上げます。

大学院博士課程に入学された皆さん、ご入学おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。皆さんは、これから生物資源の生産と利用、生物環境保全という、21 世紀の人類にとって最も重要な研究テーマを選択されました。ご存知のように、国際社会は人口の急激な増加、森林破壊と砂漠化、耕作面積の減少、環境汚染の進行などの深刻な問題を抱えており、人類存続の危機は現実問題となっております。

そのような現実を解決するには、私たち自然科学者には、森林保全、砂漠化抑止、耕作面積の確保、環境汚染の抑止などを科学的に研究し、これまで以上に効率的かつ安全な

生物資源の増産技術と生物資源の管理・保全技術を早急に開発することが求められます。現在の、動物資源を養育するためにその何倍もの小動物や植物資源が消費されるような生産方式では、地球上の人類を維持させることが困難になることは、一目瞭然であります。

さらに、森林破壊、生活環境の変化などによる人類と野生との過剰接近は、エボラ出血熱、HIV など数々の新種病原体を人間社会に送り込んでおります。今後、新たな強毒性感染病原体が人類に適応すると、短期間のうちに甚大な生命が犠牲になることは、スペイン風邪や先般の新型インフルエンザが証明しております。隣国では、強毒性のトリ型インフルエンザのヒト感染が増加しており、パンデミックが生じることは時間の問題と言って良いでしょう。さらに、温暖化によって、熱帯感染症が温帯地域に拡大することも危惧されております。

これらのことは、氷河期と間氷期の周期に関連して避けら

れない部分があるのですが、人類の業による環境破壊は、知恵と技術開発そして少しの我慢によって回避することが出来るはずであります。高等教育を享受し、研究を推進する立場にある者は、地球と人類を破滅から救い、人類の繁栄と幸福を推進するための研究成果を追求することを重要な責務として意識するべきであります。皆さんが、これから研究を遂行される領域は、まさに、人類が必要とする食物の生産、維持、管理に密接に関連する領域であり、これらの研究の積み重ねが、人類存続を可能とする方策の重要な一端を担うことが期待されます。

研究は、豊富な知識を学び、未だ解決されていない領域を発見し、それを明らかにするために仮説を立て、実験や調査を通して仮説が正しいことを証明する過程であります。前人未踏の目的地に到達する道なき道を、手探りで探し出すプロセスでもあります。失敗の繰り返しを伴うのが常であります。この過程を無事クリアした暁には、皆さんの研究力は格段に向上しているはずで、苦勞が大きいほど

その成果も大きく、光り輝くものとなるはずです。

最後に、これから洪水の如く押し寄せてくる、最先端の知識にさらされる皆さんに次のことばを贈り、学長告辞とします。

「眼力を養うのは知識だけではない、知識に寄り掛かれば目は曇る。知識は感性と悟性（思考力）につもってくる垢である。」

よく学ぶことは大切であります。学び方を誤ると、あるいは過度に過去の知識に依存すると、見えるものも見えなくなってしまいます。今日のエビデンスは、明日にはエビデンスではなくなる可能性を秘めていることを忘れないで下さい。繰り返します。

「知識は感性と悟性につもってくる垢である。」

今後の皆さんの精進に期待しております。入学おめでとうございます。

International Students,

Congratulations on your success in being accepted into the United Graduated School of Agricultural Sciences. Let me extend my heartfelt congratulations to you. You have been selected to spend an important part of your life pursuing research here in Shikoku. You may well find our climate and customs very different from those of your own country, but we have great confidence that you will conduct highly creative research activities among us. Of course you will experience a variety of difficulties as you pursue your research here.

However, the greater the difficulties, the greater will be the pride and satisfaction you will experience in overcoming them. If you view the difficulties you encounter in this spirit I am sure that your research will meet with great success.

The research theme you have chosen is “the production and utilization of bio-resources and the production of the biological environment”, an essential research theme for the human beings of the 21st century. As you will be well aware, the very existence of the human race faces a crisis due to such problems as destruction of forests, decrease in area of cultivated land, and environmental pollution. Your field of research is closely linked to the production, preservation and management of food. Continued effort in this field of research is part of the strategy that will enable us to maintain the existence of the human race.

Fortunately, The United Graduated School of Agricultural Science is proud of its extensive staff of outstanding teachers and researchers. Whenever you have any difficulties with your research, suffer from homesickness, or have any such problems, please do not hesitate to consult not only your close colleagues, but also your advisors and

other instructors. You are not alone. You will surely make lifelong friends here who will collaborate with you in your research even after you have returned to your own country. We feel sure that you will become greatly sympathetic to the spirit of this institution, your colleagues around you, your instructors and other staff, and you will very soon become acclimatized to life in Shikoku! We trust that this will help your research to proceed smoothly and produce the very finest of results.

I sincerely hope that your stay here will prove to be among the most rewarding experiences of your whole life. Congratulations again.

2014年4月14日

国立大学法人高知大学

学長 脇口 宏